

《企画意図》 周囲に目を向けて見れば、意外と多くの方がヘルプマークを付けています。しかし、ほとんどの人がそれが何かもどう対応していいかも分かっていません。この作品で取り扱うことで、ヘルプマーク自体のデザインと意味を視覚的に伝え、より多くの人に思いやりのハートを持って欲しいという思いを込めたCMにしました。(日本大学芸術学部 猪腰 侑花)

赤い床の上にある箱を開いていくと「人工関節」の文字が現れる。



さらに開くと「心機能疾患」「妊娠初期」。



箱は白い十字になる。



そこからハートを取り出す手。



白十字の下にハートを置く。

画面はヘルプマークのロゴになりバッグに付いているマークへと切り替わる。



歩き出す女性。スーパーが入る。



ACジャパンのサウンドロゴが流れる。



♪ Music



Narration

見た目では健康に見えても日常生活で配慮や助けを必要としている方がいます。

ヘルプマークは援助が必要な方のためのマークです。

街中や電車の中で見かけることがあるかもしれません。

もしもの時あなたのハートをください。

♪

ACジャパン

《寸評》 全国的にはこのマークをまだ知らない人に伝えることに意義がある。対象者の方の説明が明解で工夫がある。演出もシンプルで、きちんと伝わり理解ができる。表現の仕上がりが綺麗。作品に品格を感じる。